

# 大富士病院の教育について

副看護部長 若林英俊

❁ 当院の院是と看護部倫理に沿った看護実践能力を保有するために自ら学べる職員の育成を目指し大富士病院クリニカルラダーを実施しています。

精神科看護協会クリニカルラダーを基本とし、レベルごとの定義に沿って目的を持ち学習していくため、個人の努力だけでは難しい学習も教育サポートがある事で無理なく学んでいけます。

❁ 責任と役割 対象に応じた根拠ある看護の提供を目標にeラーニングと集合研修を中心に日々学習を重ね、多くの外部研修にも積極的に参加し個々のスキルアップを支援しています。

自分達が責任を持って行動する力、自立を目指し多職種との関りや日々の看護実践を通しながらゆっくりと確実に成長していけるところは当院の教育体制の魅力です。

# 大富士病院 クリニカルラダー

2015年からⅠ～Ⅳ段階とした『段階別教育プログラム』を使用してきましたが、日本精神科看護協会からⅠ～Ⅴレベルのクリニカルラダーが公表されました。

当院では、これまで使用していた4段階の教育プログラムを基本とし、更なる教育体制の向上を図るべく、日本精神科看護協会のラダーを参考としながらレベル別のラダーとして2023年から導入し使用しています。

各自が目標に向けレベルアップしています。

# 大富士病院 クリニカルラダーについて 1

ラダーは各レベルの目標をクリアして階段を登るよう  
に上がっていきます

## レベルⅠ：

基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を受けながら、安全に看護を実施できる

## レベルⅡ：

根拠のある判断、看護実践ができる

## レベルⅢ：

対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践できる

## レベルⅣ：

全人的に対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断をもって、患者中心の看護を実践できる

## レベルⅤ：

より複雑な対応困難な状況に応じて、最良な手段を選択し、対象者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる

# 大富士病院 クリニカルラダーについて 2

面接は所属の主任又は師長と行います

毎年自己のレベルを確認し面接にのぞむ

4月～5月

目標面接

目標面接時に自己のレベルに合わせて面接者と共に確認し自己の目標設定を行う

9月～10月

中間面接

目標に沿って実践し自己の中間評価を行い中間面接にのぞむ

2月～3月

評価面接

評価面接時自己の最終評価を行い面接にのぞむ

# 2025年 看護部 看護師レベル別教育計画

レベル	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I	障害のある人にかかわる法律から読み解く精神看護	統合失調症の看護ケアと接し方	精神科看護師のための老年期精神障害の看護	急性期病院における身体拘束ゼロ病棟達成に向けて	精神科における薬物療法の座標	限られたリソースでどう行う？精神科における感染制御	当事者から精神科看護師への暴力を考える	精神科病棟に求められる地域移行 地域定着に向けた支援		実践報告会
II	事故発生 その時現場でできること・普段からできる事		実習指導について	急性期病院における身体拘束ゼロ病棟達成に向けて	ナラティブアプローチを活用した精神看護	限られたリソースでどう行う？精神科における感染制御	当事者から精神科看護師への暴力を考える	精神科病棟に求められる地域移行 地域定着に向けた支援	明日からプリセプター	実践報告会
III	事故発生 その時現場でできること・普段からできる事	新人スタッフの個性を活かす学び伝授のコツ	実習指導について	急性期病院における身体拘束ゼロ病棟達成に向けて	ナラティブアプローチを活用した精神看護		看護補助者の確保と育成	リーダーファーストステップ	明日からプリセプター	実践報告会
IV		新人スタッフの個性を活かす学び伝授のコツ		急性期病院における身体拘束ゼロ病棟達成に向けて			看護補助者の確保と育成	リーダーファーストステップ		看護管理
V							看護補助者の確保と育成	リーダーファーストステップ		看護管理

- ・レベル別教育研修計画の内容に基づいてeラーニング視聴後に各レベルを対象とした集合研修を行い学びを深め合っています。
- ・臨時勉強会を計画し、知識 技術の向上に努めています

## AED勉強会



包括的暴力防止プログラムも  
継続して学習計画しています

AEDの勉強会も全員参加で行って  
います

各病棟で患者さんにとって安全で  
負担が最小限になるよう、拘束帯  
の勉強会をしています

院内教育委員会の研修も毎月1回程  
度計画され、eラーニングなどを利  
用して全職員が受講しています。

院内の研究発表会があり、病院全  
体で学習する環境が整っています  
その中から学会発表に繋げる演題  
も出ています

# 2025年 看護補助者（看護助手）教育計画

《教育の目的》看護師、准看護師の指示のもとに、患者の療養上の世話の一部と、業務の補助を行なうために必要な知識と能力を養う

**\*2024年から看護補助者のラダー(Ⅰ～Ⅲレベル)を実施しています**

6月	7月	9月	10月	11月	12月
看護職員として働く事 補助業務の理解 接遇マナーの基本	診療にかかわる助手 業務の基本	医療安全・倫理の基本	感染予防	清拭ケア おむつ交換	口腔ケア 洗面 整容のお世話

eラーニングを活用して事前に学習をしています

月2回に分けて研修を行っています

精神科における看護補助者の基本的な業務を学習できます

グループワークや実技など実践を取り入れた研修です

精神科の医療チームの一員として患者さんの生活を支え活躍しています

